

キャンパス

旭医大を1997年に卒業。道内の複数病院を経て、2006年に母校に戻り、17年に



現職に就いた。

ANCA関連血管炎性中耳炎の研究者として、14年度から日本耳科学会ガイドライン委

旭医大耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

員会全国調査ワーキンググループ委員、15年度から厚生労働省の難治性血管炎に関する調査研究班の研究協力者を務めている。

人材育成に取り組みとともに、めまい外来を担当。内耳の内リンパ水腫によって回転性めまいの発作を反復するメニエール病は、内リンパ液が産生過剰となる原因が解明されて

岸部 幹 講師

おらず、「治療法が次々と生まれているが、難治症例では決定打と呼べるものがない」。

医療装置から中耳に圧をかける中耳加圧療法は、海外で普及しているものの、日本では認可されていなかったが、国内で開発された装置が18年9月に薬事承認、保険適用された。「今後、難治のメニエール病に対して治療効果が期待される中耳加圧療法を導入し、患者に提供していきたい」。

メニエール病治療に注力